

門真市国土強靱化地域計画（案）に係るパブリックコメント結果について

1. 案件名

門真市国土強靱化地域計画（案）

2. 意見等募集期間

令和2（2020）年10月20日（火）～11月15日（日）

3. 実施機関（担当所管課）

(1) 名称：企画財政部企画課

(2) 電話番号：06-6902-5572（直通）

4. 閲覧場所

企画課、市情報コーナー（別館1階）、市役所本館1階入口、保健福祉センター、南部市民センター、門真市民プラザ、市立公民館、市民文化会館、市立文化会館、リサイクルプラザ、図書館本館、中塚荘、市立老人福祉センター、高齢者ふれあいセンター、女性サポートステーションWESS、こども発達支援センター、総合体育館

5. 受付した意見等の件数

合計1件

6. 意見等に対する考え方

下表のとおり

※下表の「提出された意見」の内容は提出されたご意見を原文のまま記載しています。

	提出された意見	意見等に対する考え方
1	<p>「橋梁、道路、水路、公園、下水道などの都市基盤整備について、老朽化対策を進めていきます」とある。</p> <p>近年では、下水道施設等から起因する道路の陥没事案が各地で発生している。10月18日には、東京調布市の住宅街で道路が陥没したことが大きく報じられた。</p> <p>見えない部分である路面下の状態を行政としてもしつかりと調査する必要があると考える。</p> <p>リスクシナリオとして起きてはならない最悪の事態を設定するならば、道路の老朽化対策のみではなく、こうした路面下の調査の項目を入れるのは当然であると考え。</p> <p>関連計画には、門真市公園施設長寿命化計画と門真市</p>	<p>住宅・都市の範囲に路面下空洞調査を実施することにつきましては、災害に対する備えとして必要な整備を計画的に進めるため、路面下空洞調査も含め、必要に応じて調査を実施する旨を記載するよう調整します。</p> <p>また、関連計画として「門真市橋りょう長寿命化修繕計画」及び「個別施設計画（橋りょう・舗装・歩道橋）」を追加するよう調整します。</p>

<p>公共下水道ストックマネジメント計画しかなく道路関連の計画が策定されていない部分も気になるところである。</p> <p>国においては、2018.12.14国土強靱化基本計画の見直しが閣議決定された。</p> <p>その中で、第3章 国土強靱化の推進方針の1、国土強靱化に関する施策の分野の(2)住宅・都市には路面下空洞調査、地下構造物の耐震化と漏水等の点検、修復、空洞の埋め戻し、地盤情報の収集・共有・利活用等の道路の陥没を防ぐ対策を進めることが記載されている。</p> <p>従来交通・物流から住宅・都市分野の防災・減災へ見直されることの内容と捉えられる。</p> <p>門真市の同計画の策定趣旨を見ても自然災害によって致命的な被害を負わないだけの「強さ」と被災後も地域活動や経済活動が可能な限り速やかに回復し成長を継続することができるだけの「しなやかさ」を併せ持ったまちづくりをすすめるため、基本法第13条に基づき門真市国土強靱化計画を策定するとある。</p> <p>よってその策定趣旨を踏まえ1-3②の老朽化対策の項目に加え、国が示したように住宅・都市の範囲に路面下空洞調査の実施を同計画(案)に盛り込むことを意見として提出する。</p>	
--	--